



代っ子通信

令和6年11月22日

〈第37号〉

校長 平塚智康

先生だって成長！～教育委員会訪問、副知事視察～

先日3階の廊下を歩いていると、ある5年生の男の子から「校長先生、ひまやんね。」と声をかけられました。「校長先生、ひまそうに見えるけ?」「だって、校長先生、いつも廊下をぶらぶら歩いとるし。」「そっか、これが校長先生の大事な仕事なんや。」とだけその男の子に説明しましたが、その子はきっと意味がわからないでしょうね。「今日はこのクラスの子どもたちみんな元気に来とるな。」「この授業子どもたちしっかり学びに向かっとるなあ。」・・・子どもたちの学ぶ様子や先生方の指導の様子を自分の目で見たくて、私はできる限り各教室に足を運ぶようにしています。

11月11日に、石川県教育委員会・加賀市教育委員会の学校訪問がありました。全教員が授業を公開し、教育委員会の先生方から指導・助言を受けます。教育委員会の訪問以外にも、自分たちで自主的に授業を見合って授業力を高めるための研修を行ったり、教師として子どもたちとどう関わっていけばよいのかについて悩みや課題を出し合い話し合ったりします。そして、白熱した議論が夕方遅くまで続くこともあります。また、時には、校外に研修に出かけることもあるし、他の学校や県外から本校に視察に来られて対応することもあります。11月19日には、石川県の浅野副知事が視察に来られました。11月28日には、京都府や兵庫県の教育委員会の方々も視察に来られます。

このように、山代小の先生たちは、子どもたちの「できた！わかった！学校って楽しいな。」という笑顔に出会うために一生懸命勉強し、がんばっています。私も含め、教師としてまだまだ力不足の点もあることと思います。そうした自分たちの課題について、目の前にいる子どもたちの姿から、私たちは真摯に学び続けなければならないと私は常々思っています。(職員にもそのように伝えていきます。)そして、教師として日々修行を積みながら成長していきたいと思っています。保護者の皆様、今後ともどうぞご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



〈教育委員会訪問の様子〉



〈浅野副知事視察の様子〉

5年生 収穫感謝祭～米作りの学習成果発表会～

5年生の収穫感謝祭が行われました。この日は、春の田植え、秋の稲刈りと貴重な体験活動を指導・支援していただいた中代町営農組合の皆様をゲストに迎え、体験活動や社会科・総合の時間に学習してきた米作りについての学習発表会を行うとともに、感謝の気持ちをお伝えしました。5年生は、劇やクイズ、プレゼン等で米作りについて学んだことをとても上手に発表していました。特に、米作りの一年を劇にしてまとめた3組の発表は、ゲストの皆さんにも大うけでした。（もちろん私も大爆笑でした。）中代町営農組合の皆様、1年間本当にお世話になりました。



4・5・6年生 能楽ワークショップ

室町時代から約700年の歴史を持つ日本の伝統的古典芸能である能楽。加賀市は大聖寺藩のできた江戸時代から能楽がとても盛んな街で、加賀の伝統文化として、脈々とその歴史が受け継がれてきました。そんな能楽を子どもたちに伝えるワークショップが4・5・6年生を対象に行われました。ワークショップの講師は、加賀の能楽の伝統を守り受け継ぐ錦城能楽会のみなさんです。全員で、羽衣の謡（うたい）に挑戦したり、小鼓や笛など能楽で使われる楽器の演奏体験をしたり、能面をついたりして、能楽について体験的に学びました。

